

一般質問

「市政ここが聞きたい」

12月3日(金)

森林セラピーを
観光資源に！



池田 正弘

香りによる清涼効果や生理機能の促進など優れた効果がある森林浴を行うことで、健康・保養につながるという森林セラピーが全国に広まっている。健康志向のニーズに応えるものとして、温泉と組み合わせる取り組みは考えられないか。

答弁 観光客呼び込むためには観光客のニーズに合った魅力ある観光コース

を設定していくことが必要である。特に今日、健康志向が高まる中において、森林の持つ健康といやし効果、リラククス効果などを求めるニーズも数多くあると考える。また、観光商品としての価値は高いものであり、観光客を呼び込む観光商品として大いに期待できるものであると考える。それらの活用については十分に研究していきたい。

◆その他◆高校への就学支援について

教育行政について



山田 誠一郎

①全国学力テストの結果を踏まえた佐賀市の児童・生徒の学力の状況は②学力の達成状況において課題や問題点は③課題や問題点に対する対策をどのようにし

中学校での武道必修化について



松永 憲明

平成二十四年度から全員履修となる武道について①生徒の希望調査はどうするか②指導者の段位取得状況は③柔道協会等、関係団体との連携協力体制を取って外部指導者導入を円滑に実施すべきでは④武道場の施設設備の充実。

答弁 ①指導者や施設の実態によって、大規模校は柔道、剣道、相撲から二種目、小規模校は学校の実態

ているのか④中学校における「学力と部活動」の関係はどうとらえているのか。

答弁 ①学力面では、小・中学校とも基礎的な知識及び活用力について、全国平均と同等水準にある。学習状況面では、佐賀市の子どもたちはまじめで勤勉であり、粘り強く取り組む意識が高いという結果である②

に応じて一種目を選択しており、二種目実施する学校については、生徒の希望調査を行いながら、安全かつ充実した学習ができる人数を考慮して調整したい②柔道の段位取得者は二十六名、剣道の段位取得者は二十四名いる③特に危険性を伴う柔道については、柔道協会と連携し、指導の充実を図りたい④必要な畳替え等を行うが、施設は今ある既存の施設を利用していく。

◆その他◆理科教育の推進強化（小学校への専科教員配置、中学校理科指導補助員について）

基礎的な知識の習得に比べて活用力が低いこと、算数、数学で学力差が大きいこと、家庭学習のあり方を課題ととらえている③各学校の指導の強みと弱みを教職員で共有し、指導、改善に臨んでいる④学業と部活動の双方で教育的効果を上げるよ

うに推進したい。

食を活かした観光政策推進について



中本 正一

今や空前のB級グルメブームといわれているが①シシリアンライスでBー1グランプリに参戦する考えはないか②Bー1グランプリを佐賀市に誘致する考えはないか③新たなご当地グルメとして餃子を取り上げることに対する見解は。

答弁 ①来年度の姫路大会にシシリアンライスを出展したい。そのための準備を行っている②全国大会、九州大会のいろんな情報を集めながら、効果的な誘致

◆その他◆交通安全対策について



のやり方を研究し、早い時期に誘致に向けて動いていきたい③当面はシシリアンライスのPRをしつかりとやっていきたい。B級グルメだけでなく、産業のすそ野をどう広げていくかを十分考えながら、新たな食の魅力を打ち出していく中で、餃子についても選択肢の一つとして考えていきたい。



シシリアンライス

職員の資質向上の取り組みについて



福島 龍一

職員の失策や窓口対応に對しての苦情が増えている。やる気の低下の理由として年功序列による人事制度や再任用制度が指摘されている。職員が能力ややる気を発揮するには、公平な人事評価に基づく制度が必要と

思うが、導入できないか。

答弁 職員がどういう姿勢で仕事に向かうのかが大事。再任用や年功序列制度があるから発展しないとかやる気を損なうということには、必ずしもつながらないと思う。仕事を一生懸命やって、住民からありがとう、よくやったという言葉が出るようなことをすれば充実感も沸いてくると思うので、職員にはそういう意

識で仕事をやるよう伝えたい。決してモチベーションの低い職員ばかりじゃないということをご理解いただきたい。

◆その他◆再入札制度のあり方について



12月6日(月)

子宮頸がん対策の今後の取り組み



野口 保信

国では平成二十二年度補正予算が成立し、その中で子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種促進のための予算が計上された。市もこれを機に一〇〇%公費による子宮頸がんワクチン接種に取り組むべきでは。

答弁 三つの予防接種について、将来、定期的予防接種化に向け、平成二十三年度までの期限で基金を設置する補正予算が議決されたが、年度途中から開始をしても、接種回数が確保できない。また、子宮頸がん予防接種を行うと考えられる小児科、内科の医療機関に接種方法を周知するための準備期間が必要などの意見を受け、検討した結果、平成二十三年当初から中

学校二年生を対象に実施したいと考えている。経費については、全額公費の方向で検討している。

◆その他◆自殺・うつ病対策について／支所庁舎の空き室活用について



小学校卒業まで医療費の無料化を



嘉村 弘和

このまちで、子どもを産み育てたいという気持ちによる「まちづくり」に、子どもの医療費助成は欠かせない。県内でも小学校卒業まで医療費を無料化している市町がある。子育て支援

しょうがい者福祉政策について



白倉 和子

①障害者手帳交付の迅速化②就労実態と市の方針③咽頭摘出者の人工鼻やシャント法、リハビリ等の支援は④広域連合との連携は十分か⑤新法移行に伴う障害程度区分は知的しょうがい者には特に不利益。十分な調査と内容の開示を。

答弁 ①手帳の交付については、県で申請を受けて三十日以内の交付に努めら

定住対策として、小学校卒業まで無料化を拡大しては。

答弁 佐賀市の財政力や国の地方交付税に対する動きから、今後、財政的に厳しい状況が想定される中で、いろいろな要望が重なっている。その中でどういった事業を選択するのが問われている。ただ、マニフェストでも子育て支援の方向性を挙げており、子育て環

境等を整えながら、さらに雇用を促進したい③国や専門機関等の状況を見ながら研究したい④障害程度区分の認定調査事務の二次審査の一部委託など、連携は十分にとれている⑤身体、



問い合わせに対応する職員たち

※2 人工鼻：のどに装着し、失われた鼻の機能の代わりの働きをするもの。
※3 シャント法：切り離された食道と気管を短いチューブでつなぐことで、9割の人に声が戻る方法。

シチメンソウの 発芽異常について



重松 徹

シチメンソウの発芽異常については、近年の潟土の堆積で海水の排水性が低下し、干潮時も海水が溜まり水分だけが蒸発し塩分濃度が高まっており、この塩分の過剰吸収や土壌の酸素量低下が原因とみられるが、回復に向けた取り組みは。

答弁 ヤード内の泥土の

イノシシ対策 について



山口 弘展

近年、イノシシが平坦部まで下りて来て人に危害を与えるようになったが①この状況をどのように分析しているか②緊急な駆除が必要な場合の市の対応は③今後は駆除を依頼する場合の一定のルールや予算措置を検討すべきではないか。

生育環境を回復させるために、ヤード外の潟土をヤード内に入れて、潟土を攪拌（かくはん）して酸素を入れたり、傾斜をつけてヤード内の排水性を高めるなどの土壌改良を進めて、ヤード内の潟土の活性化を図ることが必要と考えている。また、ヤード内の排水をよくする方法として、排水の妨げになっている遊歩道に排水溝を設置して、当初のシチメンソウヤードの捨て石の効果を取り戻したいと考えている。

答弁 ①生息数は近年増加傾向にある。また、自然の果実の不作などの影響でえさを求めて平坦地に下りてくるのが考えられる。さらに、車や犬などに驚いて攻撃的になり、人に危害を与えることもあると考える②イノシシの所在が不明の場合は周辺のパトロールや市民への注意喚起が主な活動となる。潜伏場所が特定されていると、市職員が警察とともに交通規制や危

◆その他◆有明佐賀空港の振興（羽田空港増枠による増便、LCC路線誘致）について



シチメンソウ

険防止対策等を行い、猟友会に捕獲をお願いする③予算措置等についてルールや基準等を検討していきたい◆その他◆企業誘致につい



12月7日(火)

九州新幹線西九州 ルートについて



西村 嘉宣

フリーゲージトレインを使用することになっているが、時間もかかるし、安心感も不足する。さらに、在来線から新幹線の本線に移るためと、逆に降りるための工事が必要。莫大な費用

が運賃に跳ね返る。市民へのメリットはあるのか。

答弁 開業すると全国の

新幹線ネットワークにつながり交流人口の拡大等が見込め、西九州地域全体の観光を初め、産業の振興や地域の活性化が期待される。佐賀県内の経済波及効果は、県の試算で、平成三十年の西九州ルート開業時には年間約十四億円となり、鹿児島

島ルートの約一・四倍。ほかに時間短縮や運行本数の増加等のメリットがあり、通勤、通学の利便性が向上する。効果を佐賀市の活性化につなげるためには、さらに佐賀市の魅力を磨き上げ発信していく努力が必要。

◆その他◆職員の健康管理について／学校の給食について／ペット飼育について

農業振興 について



久米 勝博

①温暖化対策として二〇一〇年産から本格的栽培となった高温に強く食味も良いという「さがびより」の作柄状況、米の戸別所得補償モデル対策による米価の現状と対応は②環太平洋経済連携協定（TPP）に参加した場合の市への影響は。

答弁 ①「さがびより」

は水稻、ウルチ、玄米全体の二等比率が五八％に対し七九・一％である。米価は全銘柄平均価格六十キロ当たり一万二千七百八十一円で、前年比二千二百七十円値下がり。下落への具体的な対応としては、戸別所得補償モデル対策の交付金を早期に支払えるよう農政事務所と連携を図る②農水省試算を用いた県の試算では、農業生産

額が五百億円程減少するとされている。対策が講じられないまま参加となれば、市の農業にも深刻な影響を及ぼすことになる。

◆その他◆婚活支援につい



ジェネリック医薬品の普及について



川副龍之介

①医療費に占める調剤費の割合は②国の指導や県との連携のもと、今までの取り組みと現在の普及率は③普及に対しての問題点は④普及目標三〇%に対する取り組みは⑤関係機関と一緒に普及に努めてほしいと思うが、その考えは。

佐賀発ベンチャー企業の積極支援を



永瀨 義久

輸出産業は空洞化のリスクがある。地場産業の強化や、佐賀発のベンチャー企業の創業発展が、ぜひとも必要。トライアル発注、環境や医療福祉関連のベンチャー企業の育成支援により積極的に取り組むべきではないか。

答弁 トライアル発注制

答弁 ①本市国保の昨年度の医療費約二百五億円のうち、一八・八%②適切な情報提供のために情報誌やリーフレットで周知している。県普及率は本年三月末で二〇%③品質や安定供給への不安、薬局における品ぞろえの負担、ジェネリック医薬品の選択の難しさなど④ジェネリック希望カードを作成し、新保険証に同封して配布する。なお、課題等もあるので、普及促進

に向けて関係機関等と協議、調整を図りたい⑤関係機関と協議しながら、調剤費の適正化を図っていききたい。◆その他◆中心市街地の活性化について／都市緑化について

度については、今年の六月十五日から実施している。現時点で十三事業者、十六品目を認定し、今年度中にも幾つかの品目で発注が行われる予定である。さらに認定事業者数及び品目数をふやしていきたい。環境や医療福祉関係のベンチャー企業への支援についても、成長する可能性を秘めた分野と認識しており、既に販路拡大等の支援の実績もあるが、事業に取り組もうとする地元企業の情報収集を



行い、その成長のための支援をしていきたい。

◆その他◆公用車の管理のあり方について／子どもの安全について（小中学生の携帯電話所持規制）



景観行政について



山下 伸一

自然と歴史、新しい文化に囲まれた佐賀の景観を守るための景観行政について①これまでの取り組みをどう評価しているのか②都市景観形成地区（長崎街道柳町地区、城内地区）における市民との協働にどのような取り組みできたのか。

答弁 ①佐賀市都市景観

12月8日(水)

佐賀市の重点プロジェクトについて



野中 宣明

合併効果を出すために五つの重点プロジェクトが掲げられているが、今の取り組み方では進捗や効果が見えにくい①市長は市政運営の中でどのように位置づけているのか②今後は一元的

基本計画を平成二年度に策定し、平成二十年三月に改定している。さらに平成四年度には、佐賀市都市景観条例を制定して、全国的にも早い時期からこれらに基づいて景観行政を展開している②景観のルールづくりについては、協働という視点から、行政主導で進めるのではなく、住民との議論を重ね、その中からつくり上げるという方法で取り組んでいる。具体的には、地元住民へのアンケート調査



長崎街道・柳町都市景観形成地区

や先進地視察、景観に関する勉強会などを行っている。◆その他◆ノロウイルス対策について／コンビニ収納の現状について

な進捗管理と強力なリードのもとに行うべきでは。

答弁 ①第一次佐賀市総合計画の基本計画に掲げている五項目及び行政課題に対しプロジェクト化しているものであり、それぞれの担当部署で、方針や計画に従い取り組んでいくことが一番大事であると考え、経営戦略会議で進捗状況等を一つの検討素材に上げる

ことが考えられる。また、ペーパー等をつくらせ、具体的な進捗状況のチェックをかけていきたいと思う。そのチェックと、動きの度合い、スピードを統率・指導していくのは、副市長になると考えている。

◆その他◆佐賀市農業振興基本計画の取り組みについて／今後の「秀島カラー」をもった施策実行について

※4 ベンチャー企業：新技術や高度な知識を軸に、大企業では実施しにくい創造的・革新的な経営を展開する中小企業のこと。

※5 トライアル発注：地元の中小企業が開発したユニークな製品を自治体が試験的に購入したり、良さを認定したりすることで信頼性を高め、販路拡大につなげようとするもの。